

女性の視点から 災害を考える勉強会



趣旨

女性の視点でつくるかわさき防災プロジェクト（通称：JKB）は、東日本大震災以降、川崎市内で活動が続けている市民グループです。川崎市男女共同参画センターとともに女性の視点から身近な防災活動をしたいと考える市民の方を対象に勉強会を企画しています。全5回終了した方はサポーター登録することで、ご自身が関わる市内の防災イベントへのグッズや関連書籍の貸し出し、情報提供を受けることができます。

日時

9/11、^{※1}9/25、10/9、10/23、^{※2}11/6（全5回）
いずれも木曜日、13：30～15：30

対象

- ・女性の視点でつくるかわさき防災プロジェクト（JKB）のサポートメンバーを希望する女性
- ・女性の視点から地域防災に取り組みたい町内会、自主防災組織の方

定員

（原則）全回参加が可能な方 先着30名

※欠席された方には講義部分のみ録画配信あり（期間限定）

場所

高津市民館

※1...9/25は男女共同参画センター（すくらむ21）

※2...11/6は川崎市役所 本庁舎（集合場所・詳細は4回目に連絡します）

申込

2025/8/18（月）10：00～ 受付

ホームページからお申込みください。

右の二次元コードを読み取るとメール申込画面に進めます。

TEL：044-813-0808（お問合わせ時間 9：00-17：00）





各回の内容詳細

	日程	内容	講師
①	9/11	災害とジェンダーについて考える 彩りあふれる能登の復興へ ～令和6年能登半島地震の女性の経験と意思に関する ヒアリング調査から～	池田恵子さん (静岡大学グローバル共創 科学部教授/減災と男女共 同参画研修推進センター 共同代表)
②	9/25	スフィア基準について知る・学ぶ 災害と衛生環境 【ワークショップ】トイレ対策の備え	神保大士さん (聖マリアンナ医科大学病院 救急看護認定看護師/日本 DMATインストラクター)
③	10/9	セクシュアルマイノリティの直面する 災害時の困難と人権 【ワークショップ】実際の避難所での困りごとから考える	太田利宏さん (日本生活協同組合連合会 LGBTQ & Allyコミュニティ)
④	10/23	日本での災害に備える ～外国人が災害時に困ることとその対応～ 【ワークショップ】防災訓練のチラシをやさしい日本語で 作ってみよう	杉田理恵さん (自治体国際化協会 地域 国際化推進アドバイザー)
⑤	11/6	川崎市の防災への取り組みと在宅避難を考える 【ワークショップ】子どもの視点からゲーム (Minecraft) を使って家の中の防災対策を見直そう	危機管理本部/ 中谷悠人さん (子どもSDCクラブ)



会場案内

全回参加された方には
サポートメンバー証をお渡しします

①③④高津市民館

〒213-0001
神奈川県川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ
プラザ2 (11階・12階)
※受付窓口は11階

【最寄り駅】
JR南武線「武蔵溝ノ口駅」
北口から徒歩2分
東急田園都市線・大井町線
「溝の口駅」
正面口から徒歩3分



②川崎市男女共同参画センター (すくらむ21)

〒213-0001 川崎市高津区溝口2丁目20番1号

【最寄り駅】
JR南武線「武蔵溝ノ口駅」北口より
徒歩10分
東急田園都市線・大井町線
「溝の口駅」東口より徒歩10分



⑤川崎市役所 本庁舎

〒210-8577 川崎区宮本町1番地

【最寄り駅】
JR 川崎駅から約 600m
京急川崎駅中央口から約 400m



地図は各二次元コードよりご確認ください